

# 山岳遭難発生状況

(令和8年1月1日～令和8年3月8日)  
地域部 山岳安全対策課

## 1 山岳遭難発生状況 (暫定値) (令和7年数値は1月1日からの同期間数値)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和8年	34	7	1	7	26	41
令和7年	35	8	0	11	24	43
前年同期比	-1	-1	1	-4	2	-2

## 2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	14	41.2%	5	1	2	18
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	14	41.2%	5	1	2	10	18
中央アルプス	2	5.9%	0	0	0	2	2
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	7	20.6%	1	0	3	5	9
その他の山岳	11	32.4%	1	0	2	9	12
計	34		7	1	7	26	41

## 3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	7	20.6%	2	0	5	0	7
転倒	1	2.9%	0	0	1	0	1
病気	4	11.8%	2	0	0	2	4
道迷い	8	23.5%	0	0	0	11	11
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	2	5.9%	1	1	0	0	2
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	3	8.8%	0	0	0	3	3
不明・他	9	26.5%	2	0	1	10	13
計	34		7	1	7	26	41

## 4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	2	2		0	0	0	2	2	4		
20代	1	0	1	9	11	16	0	0	0	3	3	14	22	
30代	1	0	0	2	3	53.3%	0	1	0	0	1	4	53.7%	
40代	2	0	2	1	5	10	0	0	0	0	0	5	12	
50代	1	0	1	3	5	33.3%	0	0	1	1	2	7	29.3%	
60代	1	0	0	3	4	4	1	0	2	0	3	7	7	
70以上	0	0	0	0	0	13.3%	0	0	0	0	0	0	17.1%	
計	6	0	4	20	30		1	1	3	6	11	41		
比率	73.2%						26.8%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（3/2～3/8）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
3月5日	北アルプス 白馬乗鞍岳	男	40	死亡	その他	6人パーティでバックカントリーを滑走中、立木に衝突
3月7日	ハケ岳連峰 中山	女	60	負傷	滑落	3人パーティで中山峠からミドリ池に向けて下山中、雪でスリップし、滑落、負傷

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、2件の山岳遭難が発生し、うち1件はバックカントリー滑走中の立木への衝突による死亡遭難で、もう1件は下山中の滑落による重傷遭難でした。

ハケ岳連峰中山で発生した遭難は、中山峠から下山中、雪でスリップして滑落し、負傷したものです。遭難者は、ヘリで病院に搬送されましたが、左足首を骨折する重傷でした。

山岳遭難で多いのは、下山時の滑落や転倒です。登頂して体が疲れている状態で、凍結した登山道を安全に下山するためには、確実なアイゼン歩行技術と集中力が必要です。これからの時期は、登山道の雪融けが進むと、岩と氷のミックスとなり、難しいコンディションになる場所もあります。入山される方は下山するまで集中力を切らさず行動をお願いします。